



充実した二月に

副校長 渡辺 賢志

寒さの厳しい時期が続いていますが、冬の寒さが厳しいほど、春の日は温かく感じられるはずですが、

二月と言えば、まず三日は春の節分です。立春の前日、つまり冬と春の変わり目、節目を表しています。

また、二月には久原フェスタが開催されます。十七・十八日の二日間をかけて行われる久原フェスタは、「日々の学習を社会へ発信し、今後の生き方を考えることができるようにすること」「自分の生き方やよりよい生活・社会の創り手となることができるようにすること」をねらいとした本校独自の行事です。一年間の学習を発表し合い、学び合うことで、学びの節目とする行事です。まずはこの節目となる行事に向かって頑張っているってほしいと願っています。そのことが、三月から四月にかけての次の学年や中学校への進級、進学という節目に向かってのしつかりした心構えにつながっていくのです。

さらに、二月は全ての教科等においてまとめの時期に入っていきます。苦手だったことやできなかったことにもう一度チャレンジすることが大切です。その過程には苦しいこともあるかもしれませんが、けれど、寒い冬の後には暖かい春が来るように、挑戦して克服した後に、やり切った喜びが待っていると思います。そのために、子供たちには、短い二月を大切に頑張っているってほしいと願っています。

私たち教職員一同も、久原フェスタと、充実した二月のために、子供たちをしっかりと支え、励まし、指導していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

教育目標

歴史を誇る久が原の大地に

深く根を下ろし桜のように明るく深く、

樺のように天高く伸びてゆく久原小学校に学ぶ子は、

- 一、健康な子
- 二、考える子
- 三、やさしい子
- 四、礼儀正しい子

日	曜	予定	備考	日	曜	予定	備考
1	水	B時程 4時間 児童集会(代表)		17	金	久原フェスタ (お弁当) 特別時程 14:05頃下校	
2	木	ユニセフ募金	SCU	18	土	久原フェスタ (お弁当) 特別時程 14:05頃下校	
3	金	ユニセフ募金		19	日		入校
4	土			20	月	振替休業日	
5	日		ス	21	火	がん教育(6)	SCS
6	月	全校朝会 クラブ活動(クラブ見学)		22	水	B時程 薬物乱用防止教室(5)	
7	火	避難訓練	SCS	23	木	天皇誕生日	
8	水	B時程		24	金	新1年生保護者会	
9	木		SCU	25	土		
10	金	大田区漢字検定 放課後算数補習教室		26	日		
11	土	建国記念の日		27	月	全校朝会 委員会活動 喫煙防止教育(6)	
12	日		入校	28	火		SCS
13	月	全校朝会 上学年6時間授業					
14	火	安全指導日	SCS				
15	水	B時程					
16	木	短縄月間終	SCU				

(備考)

- SCU : 浦山スクールカウンセラー来校
- SCS : 佐々木スクールカウンセラー来校
- ス : スポーツ開放 校 : 校庭開放

生活目標	寒さに負けずに過ごそう。
給食目標	食事のマナーを身に付けよう。
保健目標	外で元気に遊ぼう。
安全目標	交差点では、左右をよく見てからわたろう。

## 1年生の窓 「ぴっかぴかのはじめて」がいっぱい1年生

1年担任 小林 三和子

4月に入学した1年生も、あと2か月で2年生になります。入学から今までで、「できるようになったこと」、「楽しかったこと」をみんなで振り返ってみました。

- ・ランドセルを初めて背負った時、うれしかった。
- ・送り迎えをしてもらわなくても、一人で登校できるようになった。お友達と帰ることができた。
- ・自分で名札を胸につけられるようになった。
- ・初めての給食は、「焼きそばとフルーツ白玉」。おいしかったから、よく覚えている。
- ・自分たちで給食当番ができるようになった。
- ・6年生が教えてくれて、掃除当番の仕事ができるようになった。雑巾も絞れるようになった。
- ・平仮名が書けるようになった。片仮名も書けるようになった。「ヲ」の字も覚えた。
- ・漢字もいっぱい覚えて、きれいにかけるようになった。
- ・パソコン（タブレット）が使えるようになった。
- ・足し算、引き算の練習を毎日したら、すらすらできるようになった。
- ・本を自分で読めるようになった。
- ・本門寺公園でドングリ拾いをしたのが、楽しかった。みんなで遊んだり、お弁当を食べたりした。
- ・きょうだい学級遊びは、6年生と一緒に遊んで、すごく楽しかった。
- ・ちょっと恥ずかしかったけれど、頑張っ、挨拶ができるようになった。
- ・友達がいっぱいできた。

まだまだたくさんありました。1年生の「できるようになったこと」、「楽しかったこと」は、これからも日々、更新されていきます。乞う、御期待です。また、3学期に入り、「もうすぐ2年生になるんだよ。」と子供同士で声を掛け合う姿も見られるようになりました。「4月に新しく入学してくる1年生のお手本になれるようにしっかりしなくちゃ」とみんな張り切っています。

## 学校生活をもう一度見直してみよう

生活指導部 山本 泰平

今の学年での学校生活も残すところ2か月となりました。一つ学年が上がる準備として、挨拶や身だしなみなど学校生活の基本的な部分を見直す良い機会です。4月と比べると気持ちの良い元気な挨拶が聞こえるようになってきましたが、寒さのためかポケットに手を入れたまま登校したり、フードを被ったまま挨拶をしたりする子もいるため、手袋や帽子を身に付けるよう指導しています。

また、校内では、上ばきのかかとを踏んだまま歩いている子も見かけます。週末、御家庭に持ち帰った際には上履きのサイズや状態のチェックをお願いいたします。

## 学校を支える・動かす「委員会活動」

特別活動部 宮村 咲帆

本校には9種類の委員会があり、高学年になると、そのいずれかに所属します。飼育・栽培委員会（芝生の整備や植物の水やり）、運動委員会（体育館の換気や砂場の整備）、集会委員会（全校児童が楽しめるものを企画）、放送委員会（朝の校内放送やスペシャル放送）、広報委員会（各階の掲示管理や壁新聞作成）、給食委員会（栄養黒板や給食便りのクイズ作成）、保健委員会（石鹸の交換や保健室での補助）、図書委員会（本の貸出や読書月間での取組）、そして学校の代表として、よりよい学校を目指すために必要なことを考え、中心となって活動する代表委員会。どの委員会も、学校生活が快適になるよう常時活動に励むとともに、より魅力ある久原小学校になるような企画を考えています。

自分たちの学校生活が誰かによって支えられているということは、低・中学年の頃にはなかなか気付きにくいものです。しかし、委員会でこういった活動に取り組むことで、「一人一人が役割を果たすことで、学校生活全体が作り上げられている」ということへの実感につながっています。そして、その経験の積み重ねは、将来きっと、社会で必要な仕事の一端を担い、互いに貢献し合うことへの子供たちの意欲につながっていくことなのでしょう。コロナ禍で活動に制限がある中でも、子供たちは創意工夫をして取り組んでいます。また、来年度は創立130周年を迎えるため、周年行事に向けての活動も少しずつ進められています。今年度も残り2か月。最後まで高学年として学校を支え続けてくれることを期待しています。